

---

# 7 応用 接 続 図

---

7. 1 自動・手動切替え運転（電圧信号入力）

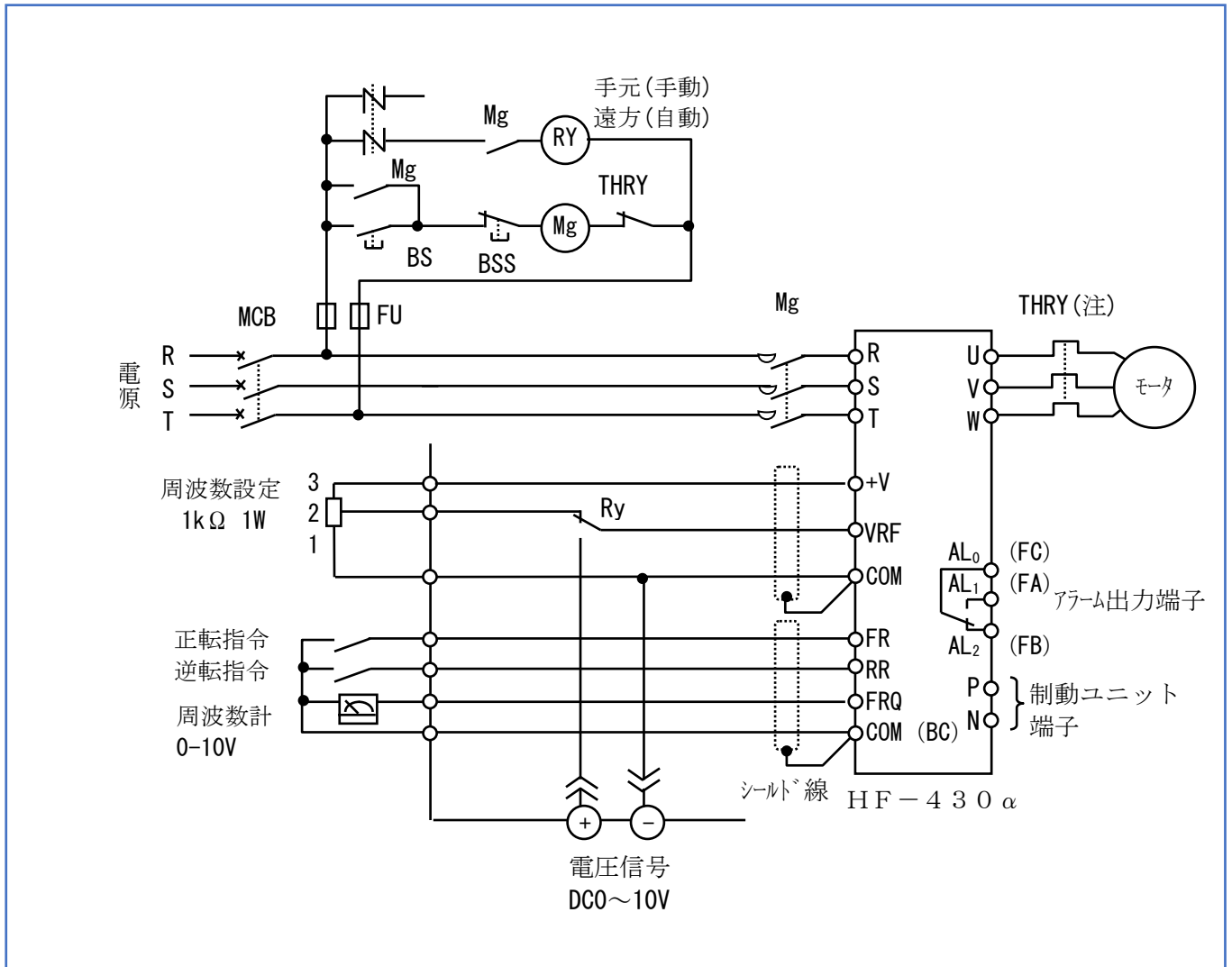
7. 2 自動・手動切替え運転（電流信号入力）

7. 3 多段速運転

7. 4 並列運転

## 7-1 自動・手動切替え運転（電圧信号入力）

自動運転の周波数設定信号が DC0~10V で、手動切替えて運転する例を示します。

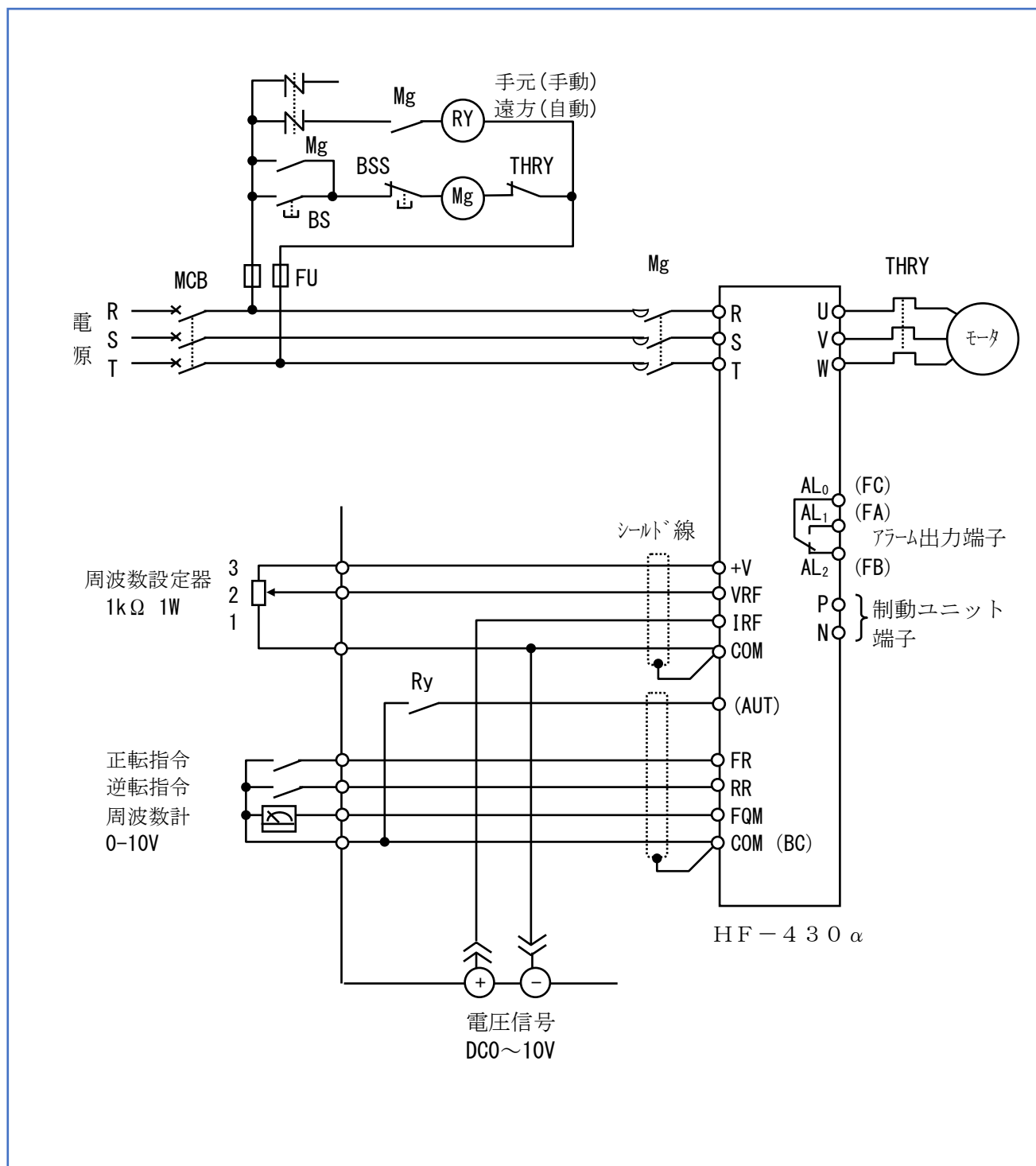


(注) インバータの電子サーマル保護機能によりサーマルリレーは不要ですが、必要に応じてサーマルリレーを取付けてください。

## 7-2 自動・手動切替え運転 (電流信号入力)

自動運転の周波数設定が DC4~20mA で、手動と切替えて運転する例を示します。

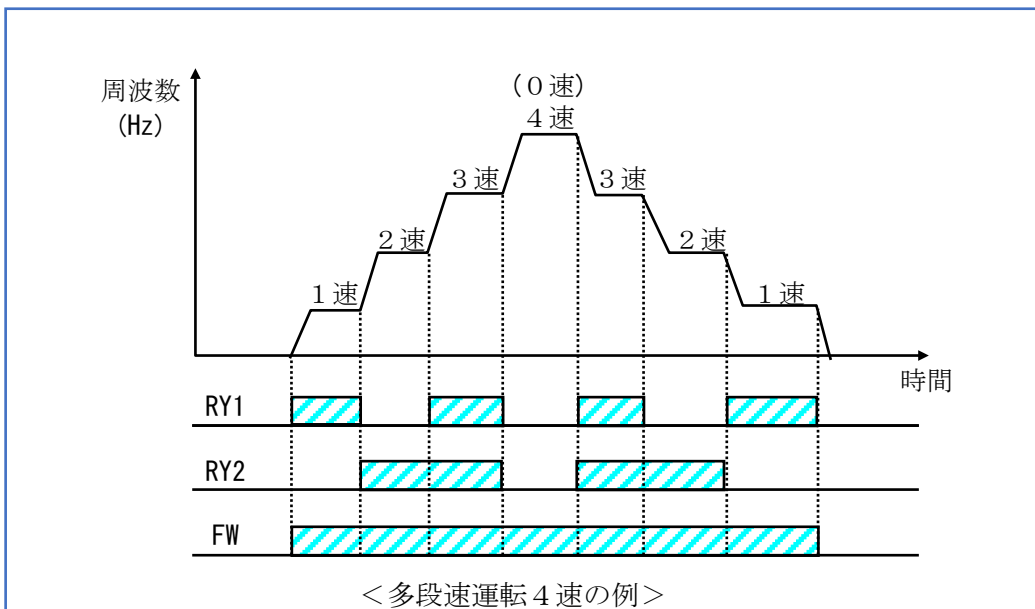
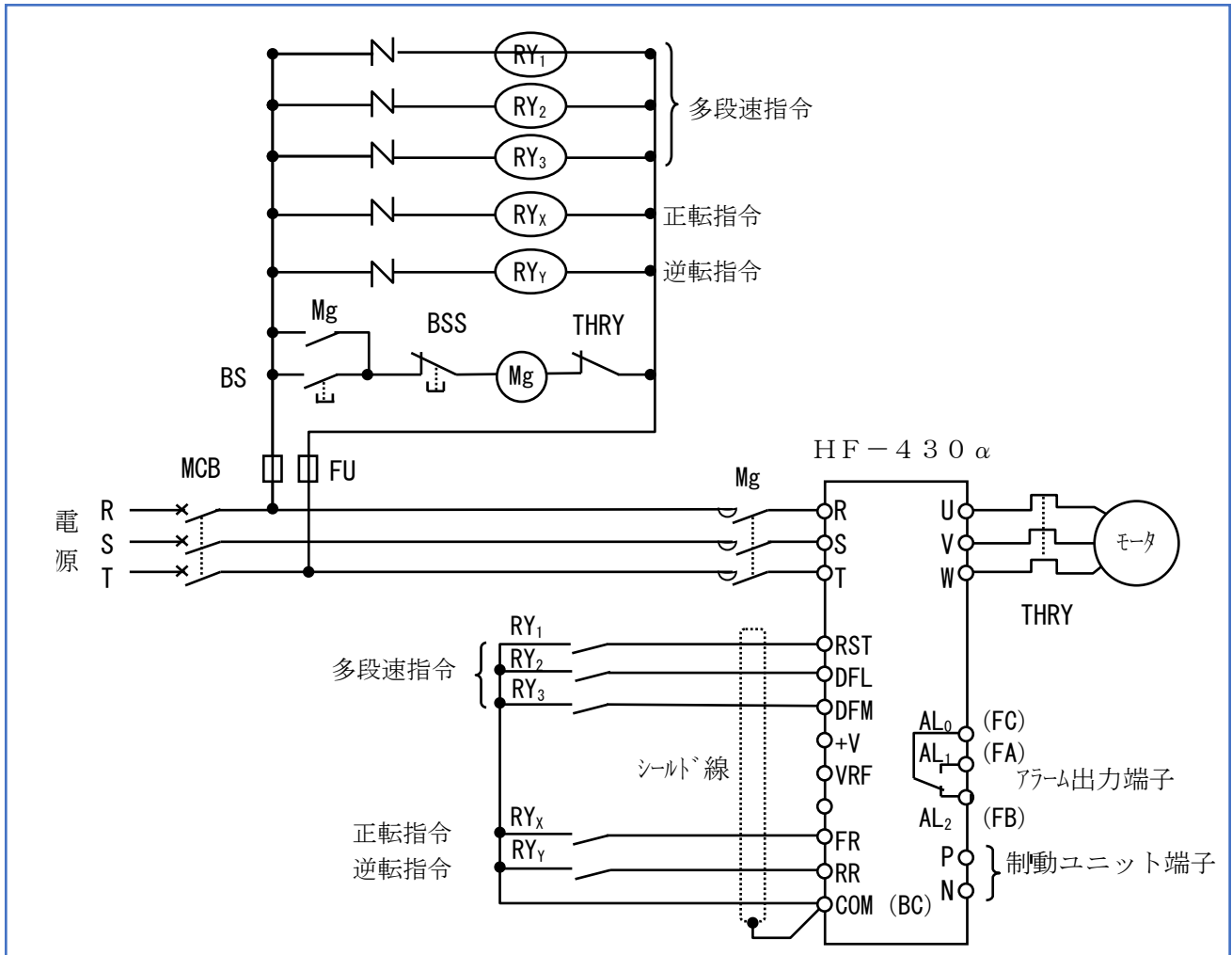
HF-430、HF-430 $\alpha$  シリーズでは、電流入力「AUT」が ON の場合、電流信号が有効、OFF の場合、電圧信号が有効となり、この機能が利用できます。



### 7. 3 多段速運転

あらかじめ設定した周波数指令を選択して、運転することができます。

RY1～3はプログラマブルコントローラのトランジスタ出力、またはリレー出力を使用ください。



## 7. 4 並列運転

1台のインバータで複数台のモータをほぼ同一速度で、運転することができます。

一般的には、インバータのV/f制御にて並列運転を実施してください。

なお、1台のインバータで複数台のモータを運転する場合、HF-430、HF-430αシリーズでは、2台まで、センサレスベクトル制御を使用できます。

### <応用例 コンベアの並列運転>

各コンベアでの負荷が異なると、モータのすべりの差で、コンベアの色度差が発生することがあります。

